

Topics

- 中分所長が2月9・10日、国立京都国際会館で行われる、関西経済同友会・関西経済連合会主催の第49回関西財界セミナー（テーマ「関西発 アジアと共に栄える道」）で意見発表を行います。
- 丹羽勝巳主任研究員が、1月25日に（社）都市環境エネルギー協会主催による、「第1回 都市環境エネルギーまちづくり情報交換会」において「京橋3-1プロジェクトにおけるエリアエネルギーマネジメントについて」を講演します。
- 1月20日に開催する第37回NSRI都市・環境フォーラムは、伊藤 滋氏（早稲田大学特命教授）によるご講演「低炭素化と都市」です。詳細は<http://www1k.mesh.ne.jp/toshikei/>まで。

Great Place To Work®あれこれ

日建設計総合研究所 代表取締役所長
中分 毅

少子化

昨年出張先のモロッコで、国王の御典医をされていた方のホームパーティにお邪魔する機会を得た。奥様がフランス人であることも手伝って、話が少子化対策の日仏比較に及んだ。フランスでは少子化が国の将来にとって重大な危機であるという共通認識の下、党派を超えて少子化対策が立案・実行され、出生率が回復しているとのことである。もちろん、移民の人々の寄与も大きいのだが、ネティブなフランス人女性も子供を持つなら三人、が多数派になってきているという。各種の支援の中でも職場復帰が保障されている事の効果が大きいとのこと。翻って、国民的議論が高まらない日本は不思議で、このままでは周囲から将来を諦めた国と認識されてしまうことが最大の潜在的リスクではないか、つまり少子化の傾向に歯止めがかからないことが日本国債の暴落の引き金になるのではないかと耳の痛い指摘をされた。現在の日建設計グループは子育てをしやすい環境にあるとは言えないが、子育てを支援するような組織にしていけることが、GPTWの重要な目標の一つではないかと実感した一日であった。

モチベーションマネジメント

時間、費用、品質が古典的なマネジメント対象であるとする、今後求められる創造的なマネジメントにおいては、参加者の動機付けを保ち、高めること（motivation management）が焦点になると考える。

米国の心理学者 Fredrickson が提唱する“拡張・構築モデル（The Broaden and Build Theory）”では、ポジティブな感情にある時、個体の注意の焦点が拡大し、記憶の探索、環境からの情報収集、一般的な知識構造の活用、思考のカテゴリー等が幅広くなることにより、全般的に創造性が増大する（Broaden）、これが、個体が長期的に活用しうる身体的、心理的リソースの着実な構築を可能にする（Build）、との主張が展開されている。

経営戦略においても、合理的な人間像を立脚点にするのではなく、職員は情動的な存在であることを直視した emotional management が注目され始めているらしい。

厳しさとともに楽しさのある職場を醸成することはGPTWのもう一つの目標であろう。

何とんでも人生の多くの時間を費やす場なのだから。

GPTWは、Great Place To Work®の略で「働きがいのある会社」の意。

お知らせ

2011年1月より、松縄 堅が理事長に、中分 毅が所長となりました。今後とも、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



新所長の紹介



中分 毅（なかわけ たけし）

1954年 東京生まれ
1979年 日建設計入社
2001年 日建設計マネジメントソリューションズ株式会社設立 代表取締役
2003年 日建設計 執行役員
2006年 日建設計 常務執行役員
2008年 日建設計総合研究所 取締役（兼務）
2011年 日建設計総合研究所 代表取締役所長就任

主にプロジェクト開発、バリューマネジメント、海外プロジェクト等を担当。



編集後記 新年を迎え、「VIEW」のレイアウトを一新しました。編集スタッフもキャラクターに扮し、都市環境にまつわる情報発信をいたします。引き続き、ご愛読ください。（かばぞう）
定期配信希望は、webmaster_ri@nikken.co.jpへ

